

2024年度 第3回 藤沢市立六会中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 12月 13日（金）10時～  
場 所 六会中学校 第一会議室

|      |   |
|------|---|
| 出席委員 | 五十嵐 直美（六会地区青少年育成協力会 副会長）<br>滝内 洋子（学園都市むつあい協力者会議 会長）<br>堀田 英二（前六会地区自治連合会会長、六会中学校学習支援員）<br>堀口 陽子（六会地区民生委員児童委員協議会 会長）<br>山本 裕章（六会地区青少年育成協力会 会長）<br>玉置 日菜子（六会地区担当 CSW）<br>角田 督（六会中学校 PTA 会長）<br>大石 由佳（六会中学校 校長）<br>浅場 純子（六会中学校 教頭）  |
| 次第   | (はじめに) 校内見学<br>1. 開会<br>2. 報告<br>「別室の運用について」<br>3. 議題<br>「善行長後線開通に伴う交通安全について」<br>4. 各委員から<br>5. 閉会  |
| 協議内容 | (校内見学)<br>授業および校内掲示物（生徒の成果物等）を参観。<br>* 2について<br>本校の不登校支援の取り組み（「かけはしルーム」の運用）について現況報告を行った。（教頭）<br>・別室利用者が増えているが、部屋が一杯になってしまうことはないか。（五十嵐会長）<br>・多くて一日10名ほど。今のところ一杯になってしまうことはない。（大石副会長）<br>・不登校の原因は何だと考えているか。（山本委員）<br>・様々な人間関係が理由という子どももいるが、集団が苦手な疲れてしまう子や朝が起きられない、勉強についていけないなど理由は様々。他に居場所がある子は良いが、学校に行きたくても行けない子の居場所となると良い。（大石副会長）<br>・大人は頑張れと言いたくなるが、色々なプレッシャーを感じていると思う。声をかけてあげることが大切だと思う。（山本委員） |

- ・親にも課題があることもある。親も元気で居てほしい。(五十嵐会長)
- ・生活リズムが崩れている場合は、家庭の課題もあると思う。スマホやゲームのやり過ぎなど。(大石副会長)
- ・一日別室を利用することはできるのか。(堀口委員)
- ・本人が来られる2時間としている。集団を苦手としている子も多く、人員や場所の都合もあり、細かいケアができるようにするため。(大石副会長)
- ・利用率はどうか。(角田委員)
- ・不登校の生徒数は減っている。別室の効果と考える。(大石副会長)
- ・親の情報交換会はあるのか。(五十嵐会長)
- ・現在は開催していない。(大石副会長)
- ・親の心のよりどころのひとつになると良いと思う。(五十嵐会長)
- ・出席数が足りないから登校するという子も居るのか。(堀口委員)
- ・そのような意識というより、やりたいことなどの目的があって登校している子が多いと感じる。(大石副会長)
- ・不登校である生徒自身は、不登校である理由を認識しているのか。(角田委員)
- ・「何で学校に行けないのか分からない」という子も多いように感じる。(大石副会長)
- ・学校は不登校生徒の親とコミュニケーションをとっているか。(角田委員)
- ・主に担任がとっている。(大石副会長)
- ・別室に入っていないが、ギリギリで教室に行っている子も多いのではないか。(山本委員)
- ・そういう生徒も別室を利用することはできる。長期的に利用する場合、生徒、保護者含めて面談を行うようにしている。(大石副会長)
- ・他校と比べると不登校支援はどういった状況なのか。(角田委員)
- ・本校においてはハード面が整っていることもあり、別室は整備されていると思う。なにより、生徒を見守る職員や介助員等の力があってこそ生徒が登校できている。身体を動かしたいという子どももおり、体育教員が授業を担当することもある。(大石副会長)
- ・「かけはしルーム」の名前は誰がつけたのか。(玉置委員)
- ・支援担当の職員で考えつけたもの。(大石委員)

#### \* 3について

新道路の開通に伴い交通量が増えている状況がある。現在、少年補導員、青少年指導員が横断歩道に立って声かけ、見守りをしているところである。朝は交通量が多い。坂の上に横断歩道があるために、坂を上るまで歩行者に気付かず、スピードを緩めないまま横断歩道を通る車が多い。下校時間は暗く、ライトを照らさないと非常に危険。早めに対策を講じる必要がある。電柱に「横断歩道あり」と張ってあるが見えにくい。道路の凹凸や、点滅、標識、立て看板など、行政には話をしているところである。近隣小学校の子どもも通る場所であり、大人であっても危険を感じる。何か良い知恵があればコミスク内でも案を出し合っていきたい。(五十嵐会長)

- ・「ぴかっとわたるくん」が手軽で良いのではないか。(角田委員)